

宗祖命日 11月の参拝者 12名 順不同・敬称略

茶屋本 廣喜 (小倉南区)	中村 勝利 (門司区)	増田 和久 (小倉南区)	延吉 政彦 (小倉南区)
崎田 元信 (小倉南区)	本多 義宏 (門司区)	天神 正行 (小倉南区)	天神 光介 (小倉南区)
青木 サツ子 (門司区)	岡本 隆夫 (小倉南区)	古野 貞幸 (小倉南区)	中村 加代子 (小倉北区)

12月31日 除夜の鐘(除夜会)について

今年度の除夜会は中止させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

年頭初参会について

2022年 1月14日(金) 1月15日(土) 1月16日(日)
10:00~【1日1座とさせていただきます】1時間程度

コロナの影響も考慮して、例年と違う時間帯にて勤修しますことご容赦願います。

- 懇志袋は永照寺だより今月号と同封しています。お寺にもご用意しております。
- お齋の接待はありません。
- 懇志上納者の堂内掲示は控えます。後日寺報にて掲載いたします。
- 16日の7時のお朝事(おあさじ)はありません。
- 感染予防の為、地区総代による法座案内の配布をご遠慮させていただいています。

お寺の掲示板には
住職・前任職が「毎月」言葉を書いて、
通りがかりの人がメモをしたりして、
「意味を覚えてもらいたい」と、
たずねられることもありますので
この「お寺の掲示板」のコーナーで
お伝えしていきたいと思えます。

お寺の
掲示板

子らよ
手を合あわす人ひとに
ななっっておおくくれ

〈掲示月〉2021年(令和3年)11月

人間が、他の動物と異なる特徴は、「道具を使う」「言葉をしゃべる」ことです。

「道具を使う」ということは手を使うということですが、その手も、人をたたかきにもなれば、合掌する手にもなります。合掌の姿は、相手へ敬う姿です。

「言葉をしゃべる」といっても、人を傷つけることもあれば、人を力づける言葉もあります。私は、どちらの言葉を多く「口」に吐いてきたのでしょうか。

親鸞聖人の説かれたお念仏は、「お願い」することではなく「報謝」「感謝」のお念仏です。

北陸に米澤英雄さんという、仏法をよくこぶお医者さんがおられました。米澤さんが「お念仏は請求書ではなく領収書」と言っています。

考えてみると、私達は生まれて以来、請求書を出しっぱなしではないでしょうか。親に対し、子に対し、社会

に対し、私はこれだけのことをしたのだから、こつこつしてもらわねば困ると知らず知らずのうちに請求書を出しています。そして、その結果が意に反したときは、こんなにしてあげたのに何故か、不平不満が起こってきますし、たまたま請求どおりになっただとしても、私の貪りの心に終わりはありません。それが私の姿です。

「念仏は請求書ではなくて領収書である」という言葉は、「利益(りやく)やぐをください」と、お願い、要求するのではなく、怒り、貪り、愚痴でいっぱい私の姿を見抜き、私をそのまま、おさめとていく仏様の願いに、うなずき、感謝していく心です。手を合わせ、お念仏申し、親鸞様の教えを味わう人が、一人でも多くなるようにと思えます。

子らよ
手を合あわす人ひとにななっっておおくくれ
お念仏の教えを
よろこぶ人にななっっておおくくれ

下記の感染対策をして法座を開催します。

- マスクの着用をお願いします。
- 事前に検温をお願いします。
- 37度以上ある場合は参拝をご遠慮してください。
- 本堂距離を保ち椅子を並べます。
- アルコール消毒、1座ごとに堂内消毒、換気を徹底します。

マスク着用を
お願いします

事前の検温を
お願いします

離れて
お座りください

消毒を
おこないます

換気を
おこないます

ぼんぐ 凡愚のつぶやき

あつという間に一年が過ぎました。今年も新型コロナウイルスに振り回された一年でした。葬儀や法事の形は変化してきましたが、おかげさまで無事一年を過ごすことができました。今年も一年本当にありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願い致します。年末ご多用のことと思います。どうぞお身体、ご自愛くださいませ。

お知らせ

- 寺報には大切な情報が書かれていることがあります。捨てずに一読ください。
- お経本は床に置かないでください。
- 毎月16日は親鸞聖人命日(おあさじ)にお参りください。
- 住所が変更する場合は、恐れ入りますがお寺に届けてください。
- 最近では法事が土曜・日曜に集中しますので、早めに連絡頂ければ助かります。(特にお寺で法事をする場合)

永照寺 開門・閉門の時間

【年末年始もこの時間で】

・開門…6時30分・閉門…18時

行事予定やお参り・法要などの連絡事項は「ホームページ」にて随時更新しています。

ホームページに関してのご意見、ご希望、メールをお待ちしています。 <http://www.eishouji.or.jp/> 北九州 永照寺 🔍 検索

Blog Bonguan 凡愚庵

永照寺:住職のブログ【凡愚庵(ぼんぐあん)】も合わせてご覧いただければ幸いです。(上記のホームページ内に移転しました。)

モバイルはこのマークをカメラで読み込んでください。

離れて暮らすご家族にもオススメください。